

BIKE MOTION BENELUX2010

オランダ、ユトレヒトの国際展示場 JAARBEURS UTRECHT にて、ベネルクス市場の消費者向けスポーツ自転車展が昨年より会期を1週間早めて開催された。

【BIKE MOTION BENELUX 2010】

主催： VNU Exhibitions Europe

会場： JAARBEURS UTRECHT 展示場

会期： 2010年10月22日(金)～25日(月)

一般公開：22日(金)～24日(日)、ビジネスデー；25日(月)

開催時間： 22日(金)12:00～21:00、23日(土)・24日(日)10:00～17:00、
25日(月)9:00～15:00

使用ホール： ホール1～4、計4ホール 36,000㎡ (昨年 32,500㎡)

入場者数： 29,372人 (昨年 29,942人)

出展者数： 226社 621ブランド (昨年 195社 594ブランド) ※ガイドブックより集計



会場の様子 (左；ホール1、右；ホール2)

1. 展示会概要

昨年と利用したホールの数は同じだが、ホールの位置(昨年；ホール9～12使用)が全て変更されたため全体の展示面積は拡大した。来場者は570人と前年より僅かに減少したものの、出展社数は前年比16%増の226社、取扱いブランド数は同比4.5%増の621に増えており、会期中は一般公開日、ビジネスデー共に来場者数停滞を感じさせないほど盛況であった

ユーザー向けスポーツ車中心の展示会として、欧米主要スポーツ車ブランド、部品及びアクセサリ類は昨年同様に一通り揃っていた。地元ブランドではコガ、ガゼレ、ユニオン、JAN JANSSEEN やエディー・メルクス等が出展していた。更にアクセルグループは地元ブランドのバタバスのスポーツ車の他、ドイツからはWinora/HaiBike及びGhost、フランスからはラピエール、北米のレッドライン等、ほぼ全てのスポーツ車ブランドを揃える充実ぶりであった。メリダ/センチュリオン、CUBE、SCOTT、FOCUS、ジャイアント等が、米国ブランドではスペシャライズド、トレック、キャノンデール/GT等が大きな小間を構えていた。また、サ

イクルヨーロッパのプジョー、ユニベガ、VSF Fahrrad、米国のトマック、イエティ等が新たな出展社となった。しかし一方で昨年から参加したケトラー、シュイン及びフォンドリエスト等は早くも姿を消し、更に KTM、R&M、コラテック、ストック及びラレー等も今回は見られなかった。



バタバス



カゼレ



CUBE



ジャイアント

なお、今回はイタリアの出展者が集まった「BICI ITALIA」という一角も設けられ、そこにはピアンキ、デ・ローザ等がスポーツ車や部品、付属品を出展し、コルナゴは別ホールに大きなブースを構えていた。イタリアからの出展者が増えた理由として、9月の自転車単独のミラノ展が中止となり、11月のオートバイと合同のEICMAを避け、本展がその受け皿となったとも考えられる。

部品・付属品関係では、シマノを筆頭にカンパニョーロ、スラム、BBB パーツ、マビックなど、数多くのブランドの品々が見られた。更に昨年より日本企業ブランドの出展数も増えており、出展ブランド等を見れば、昨年に引き続き EUROBIKE に次ぐ欧州第2位展示会であったといえる内容であった。



コルナゴ



プジョー



BICI ITALIA エリア付近



ビアンキ

2. 出展参加

今回、当事務所は同展へ初めて参加した。小間の位置は、ホール2、面積は12㎡と小さなものであったが、日本の自転車関連商品が掲載されたJBGの冊子とCD-ROMの配布を行い、日本の自転車部品の宣伝活動に努めた。連日、多くの来場者からベネルクス市場での取り扱い代理店の照会等があり、日本製品の注目は高かった。

また、ドイツやイギリスで先行するシングルスピード車人気はオランダでも見られ、日本製部品の知名度はベネルクス地域でも既に広まっていた。当方のような小規模ブースであっても、カタログ資料をじっくりと吟味する来場者も多く、ベネルクス地域、とりわけオランダの消費者の自転車への関心の高さを改めて感じた。

更に、当ブースの他に日本からは、「近藤機械製作所」が新製品のハブ「GOKISO」の出展を行っていた。同社は航空機部品製造の技術を生かして自転車部品生産に挑み、海外展示会へ初参加した。今回の出展に対し好感触を得て、今後も海外出展を行う意欲を述べていた。日本企業がオランダの地で孤軍奮闘する姿は、高品質の日本製部品には欧州市場でまだ十分可能性があることを感じさせた。



当会ブース



GOKISO

3. その他

今回も会場内は盛況であったが、結果として入場者数は頭打ちとなった。また、出展社の入れ替わりも見られた。この展示会は、スポーツ車中心の展示会のため、現在オランダ市場を牽引する電動アシスト自転車に注力する企業は出展していなかったが、いくつかの大きなブースの一部でスポーツ車タイプの電動アシスト自転車も出展されていた。

来年は会期を更に早め 2011 年 10 月 14 日～17 日の 4 日間、ユトレヒトの国際展示場にて開催予定である。



電動アシスト自転車（トレック）



シティ車（カルクホフ）

以上

(デュッセルドルフ事務所)



この報告書は、競輪の補助金を受けて作成したものです。

